

平成27年度後学期実施分「授業改善のためのアンケート」集計結果

I 講義・演習科目

質問・回答 (特に記載がない場合は:5:強くそう思う,4:そう思う,3:どちらとも言えない,2:そう思わない,1:全くそう思わない) ◇受講した授業科目に関して, 質問1~9は授業全体及び教員についての, 質問10~17は自分自身についての評価項目となります。	後学期前半科目					後学期後半科目					後学期科目				
	専門		一般			専門		一般			専門		一般		
	建築	総合	化学	総合	共基	建築	総合	化学	総合	共基	建築	総合	化学	総合	共基
Q1 授業は学習目標が達成できるよう適切に行われましたか。	4.1	3.8	—	—	—	4.1	3.7	—	—	—	4.2	3.9	4.0	4.1	3.9
Q2 授業はシラバスに沿って行われましたか。	4.1	4.0	—	—	—	4.2	4.1	—	—	—	4.2	3.9	4.0	4.0	4.0
Q3 授業はよく準備し、熱意を持って行われましたか。	4.2	3.8	—	—	—	4.0	3.9	—	—	—	4.1	3.9	4.0	4.1	4.0
Q4 授業は学生の反応や理解度を考慮しながら行われましたか。	4.0	3.6	—	—	—	3.9	3.5	—	—	—	4.0	3.7	3.9	4.0	3.8
Q5 授業は静粛に運ぶよう配慮していましたか。	4.1	3.9	—	—	—	4.1	3.8	—	—	—	4.0	3.9	4.0	4.0	3.9
Q6 話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	4.1	3.9	—	—	—	3.9	3.7	—	—	—	4.1	3.8	4.0	4.1	4.0
Q7 板書やプロジェクタの使い方は、適切でしたか。	3.9	3.9	—	—	—	3.8	3.7	—	—	—	4.0	3.8	3.9	3.9	3.9
Q8 授業時間外の学修 (内容, 方法等) について, 担当教員から具体的 (シラバスに明記を含む) に示されましたか。	4.0	3.5	—	—	—	3.9	3.6	—	—	—	4.0	3.7	3.9	3.9	3.8
Q9 課題 (レポート, 小テスト等) に対し, 担当教員から学生へのフィードバック (評価や講評等の開示) はありましたか。	3.5	3.3	—	—	—	3.5	3.2	—	—	—	3.9	3.6	3.9	3.9	4.0
Q10 あなたにとって授業は全体として満足できるものでしたか。	4.0	3.8	—	—	—	3.8	3.6	—	—	—	4.1	3.7	3.9	4.0	3.9
Q11 あなたにとって学修した知識は今後役立つと思いますか。	4.1	3.8	—	—	—	4.2	3.7	—	—	—	4.1	3.8	4.0	4.0	3.9
Q12 あなたにとって授業の難易度は適切でしたか。	3.7	3.4	—	—	—	3.7	3.2	—	—	—	4.0	3.5	3.7	3.8	3.6
Q13 この授業科目を1週(回)受けるに当たり, 授業時間以外で学修(予習, 復習, 課題等)にどのくらい取り組みましたか。 回答 5: 3時間以上, 4: 2~3時間, 3: 1~2時間, 2: 1時間未満, 1: 取り組んでいない	2.8	2.6	—	—	—	3.0	2.6	—	—	—	2.7	2.3	2.3	2.2	2.4
Q14 現時点での授業への出席率はどのくらいですか。 回答 4: 90%以上, 3: 70~89%, 2: 30~69%, 1: 30%未満	3.9	3.9	—	—	—	3.9	3.7	—	—	—	3.8	3.7	3.7	3.7	3.8
Q15 この授業科目を受けるに当たり, 図書館をどのような目的で利用しましたか (複数回答可)。 回答 5: 文献資料を閲覧・借った, 4: 予習・復習をした, 3: レファレンスサービスを利用した, 2: 相互利用(他学部・他大学からの取り寄せ)を利用した, 1: 全く利用していない	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
Q16 この授業科目に関し, 授業時間外 (授業終了直後を含む) に, 担当教員に対し質問等をしましたか。	3.1	2.9	—	—	—	3.4	2.8	—	—	—	3.3	3.0	3.2	3.1	3.1
Q17 この授業科目に関し, 授業時間外に, 学生間で共に学修しましたか。	4.0	3.8	—	—	—	3.9	3.3	—	—	—	3.5	3.2	3.4	3.3	3.4

II 実験・実習科目

Q1 授業は学習目標が達成できるよう適切に行われましたか。	—	—	4.2	—	—	—	—	4.1	—	—	4.3	4.0	4.2	—	4.0
Q2 授業はシラバスに沿って行われましたか。	—	—	4.4	—	—	—	—	4.3	—	—	4.3	4.2	4.1	—	4.0
Q3 授業はよく準備し、熱意を持って行われましたか。	—	—	4.0	—	—	—	—	4.1	—	—	4.2	4.0	4.1	—	4.0
Q4 提出物(課題、レポートなど)の書き方やまとめ方の指導は適切でしたか。	—	—	3.8	—	—	—	—	4.1	—	—	4.1	3.9	4.1	—	3.8
Q5 授業は静粛に運ぶよう配慮していましたか。	—	—	4.1	—	—	—	—	4.1	—	—	4.1	3.9	4.0	—	3.8
Q6 話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	—	—	4.2	—	—	—	—	4.0	—	—	4.2	3.8	4.0	—	3.9
Q7 安全や衛生に関する適切な指導と配慮をしていましたか。	—	—	4.2	—	—	—	—	4.1	—	—	4.2	3.9	4.1	—	4.0
Q8 授業時間外の学修 (内容, 方法等) について, 担当教員から具体的 (シラバスに明記を含む) に示されましたか。	—	—	4.1	—	—	—	—	4.0	—	—	4.1	3.8	4.0	—	3.8
Q9 課題 (レポート, 小テスト等) に対し, 担当教員から学生へのフィードバック (評価や講評等の開示) はありましたか。	—	—	3.6	—	—	—	—	4.0	—	—	4.1	3.8	3.8	—	3.6
Q10 あなたにとって授業は全体として満足できるものでしたか。	—	—	4.2	—	—	—	—	4.0	—	—	4.1	3.9	4.1	—	3.9
Q11 あなたにとって学修した知識は今後役立つと思いますか。	—	—	4.1	—	—	—	—	3.9	—	—	4.2	3.9	4.1	—	3.8
Q12 あなたにとって授業の難易度は適切でしたか。	—	—	4.0	—	—	—	—	3.8	—	—	3.9	3.7	4.0	—	3.7
Q13 この授業科目を1週(回)受けるに当たり, 授業時間以外で学修(予習, 復習, 課題等)にどのくらい取り組みましたか。 回答 5: 3時間以上, 4: 2~3時間, 3: 1~2時間, 2: 1時間未満, 1: 取り組んでいない	—	—	4.0	—	—	—	—	3.7	—	—	4.1	2.8	3.5	—	3.1
Q14 現時点での授業への出席率はどのくらいですか。 回答 4: 90%以上, 3: 70~89%, 2: 30~69%, 1: 30%未満	—	—	3.8	—	—	—	—	3.8	—	—	3.9	3.8	4.0	—	3.9
Q15 この授業科目を受けるに当たり, 図書館をどのような目的で利用しましたか (複数回答可)。 回答 5: 文献資料を閲覧・借った, 4: 予習・復習をした, 3: レファレンスサービスを利用した, 2: 相互利用(他学部・他大学からの取り寄せ)を利用した, 1: 全く利用していない	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
Q16 この授業科目に関し, 授業時間外 (授業終了直後を含む) に, 担当教員に対し質問等をしましたか。	—	—	3.8	—	—	—	—	3.7	—	—	3.6	3.3	3.7	—	3.1
Q17 この授業科目に関し, 授業時間外に, 学生間で共に学修しましたか。	—	—	4.2	—	—	—	—	3.7	—	—	4.0	3.5	3.8	—	3.4

※1 表の数字は学生が評価した各選択肢の平均値。ただし, Q15(2か所・斜線表記部)については, 質問の性格上(図書館の利用状況についてのため), 平均化の処理をしていません。

※2 「I 講義・演習科目」と「II 実験・実習」では質問内容が一部異なります。

※3 「—」の表記は, 該当科目がないことを意味します。

平成27年度後学期実施分「授業改善のためのアンケート」集計結果へのコメント

1 建築・生活デザイン学科

Q1～Q12の授業に関する評価の平均は全体的に4点以上が多く概ね良好である。Q9の“課題に対する担当教員から学生へのフィードバック”に関しては他項目より若干低い点となっている。この評価点は前期から改善が認められるが継続的に改善に取り組んでいく。自由意見を見ると、クォーター制科目の授業進度が集中できてちょうどよいという意見が大半ではあったが、少し早いという意見も散見された。このように感じる学生に対して何らかの対策を講じていく必要がある。

2 ものづくり・サイエンス総合学科

平均値は4点弱とおおむね良好であるが、Q4（学生の反応や理解度）、Q8（授業時間外学修の指示）、Q9（課題のフィードバック）については3.5～3.7と低いので改善が必要である。

Q10（授業の満足度3.7）、Q12（授業の難易度3.5）については、上記の3項目に関連しており、学科内において課題を検討し、これらを改善することにより、授業の理解度を高め、満足度を向上させていく。

3 生命・物質化学科

講義・演習科目でも実験・実習科目でもQ1～12は回答がほぼ4前後で授業や実験・実習の内容や方法についてはおおむね問題ないと思われる。Q13の授業時間外での学修時間が少ない傾向があるが、当学科では学習内容確認やレポート作成を授業時間内に指導したりして時間を取っている結果だと思われ、今後は発展的な課題を与えるなど、授業時間外での学修意欲を高める工夫をしていきたい。

4 短大一般教育

授業に関する評価については、概ね4点前後と良好であり、前期のアンケート結果と比較して改善が見られる。ただ、授業の難易度に講義担当者によるばらつきがあるようで、改善に取り組む必要がある。さらに個々の学生の習熟度に合わせたきめ細かい指導を積極的に行うとともに、今後編入学等の進路指導支援もより一層強化していく予定である。